



■使用評価マニュアル：CASBEE柏2014年版

（使用評価ソフト：CASBEE柏2014(v.1.22)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京大学(柏)生産技術研究所海洋	階数	地上2F
建設地	千葉県柏市	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	15人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年7月28日
敷地面積	320,313 m ²	作成者	株式会社 長大
建築面積	2,692 m ²	確認日	2015年7月28日
延床面積	2,486 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 *Qのスコア = 3.4*

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3のスコア = 3.3</p>

LR 環境負荷低減性 *LRのスコア = 3.5*

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3のスコア = 3.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 開放的な敷地の景観と調和する外観デザインとした。また、東側に隣接する研究・実験棟南側通路と本建物の回廊の軸線をそろえる配置計画とした。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事残土を場内処理し、敷地外に出さない。 希少植物を保存する取り組み。 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 光が入ると水槽に藻が発生してしまうため無窓として設計した。 実験の際に発生する音に配慮し遮音性の高い材料を採用した。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験室においては水槽を使った実験が行なわれる。水槽は常時満水のため吸水性の低い材料を採用した。また、実験室は大空間のためメンテナンスが不要な仕上げとした。 	
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 高効率空調機、高効率照明器具の採用 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水器具の採用 構内井水利用 	
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外構の緑化 	
	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に池、緑地を設け、地域に潤いをもたらす。 建物の高さを極力抑え、周辺への日影の影響や、風下への影響を小さくする。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

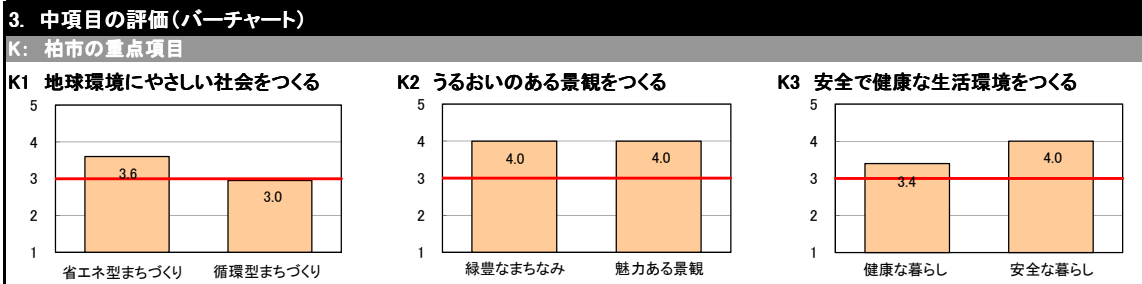


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.1.22)

1 建物概要			
建物名称	東京大学(柏)生産技術研究所海洋工学研究棟(仮称)	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★☆

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度※(得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.2 / 5.0	☆☆☆	
K2 うるおいのある景観をつくる	4.0 / 5.0	★★★★	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.7 / 5.0	☆☆☆☆	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高効率空調機、高効率照明器具の採用 ・節水器具の採用 ・構内井水利用 	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 4.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外構の緑化 ・希少植物を保存する取り組み ・敷地内に池、緑地を設け、地域に潤いをもたらす。 ・建物の高さを極力抑え、周辺への日影の影響や、風下への影響を小さくする。 	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 4.0 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 ○ 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築材料は全てJIS・JASのF☆☆☆☆を採用 ・建築基準法に定められた耐震性を有する。 	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.8 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 ○